

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」のご紹介

令和7年3月

北海道開発局 開発連携推進課



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



インフラツーリズムほっかいどう

北海道開発局の「インフラツーリズム」の取組



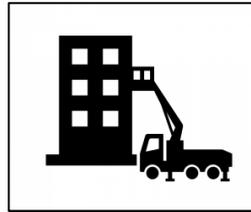
☆北海道開発局が推進する2つのインフラツーリズム

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」と「地域共創インフラツアー」の違いについて

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の取組イメージ ▼



観光事業者(旅行会社等)



北海道開発局(事務所、事業所等)



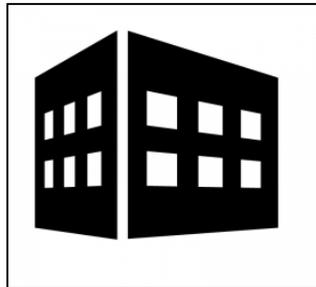
ツアー向け
インフラ
見学枠の公開

○北海道開発局が見学の受入を公表している公共施設を対象として、施設見学を組み込んだツアーを旅行会社等が企画・催行する取組。

「地域共創インフラツアー」の取組イメージ ▼



地域(自治体、DMO等)



北海道開発局(開発建設部 地域連携課等)



地域共創
インフラツアー

○各開発建設部が地域(自治体・DMO等)と調整し、公共施設と様々な地域資源とを組み合わせ、地域発展のストーリー等の理解促進に資するメニューの概要を示した上で、催行可能な旅行会社等を募集し、旅行会社等がツアーを企画・催行する取組。

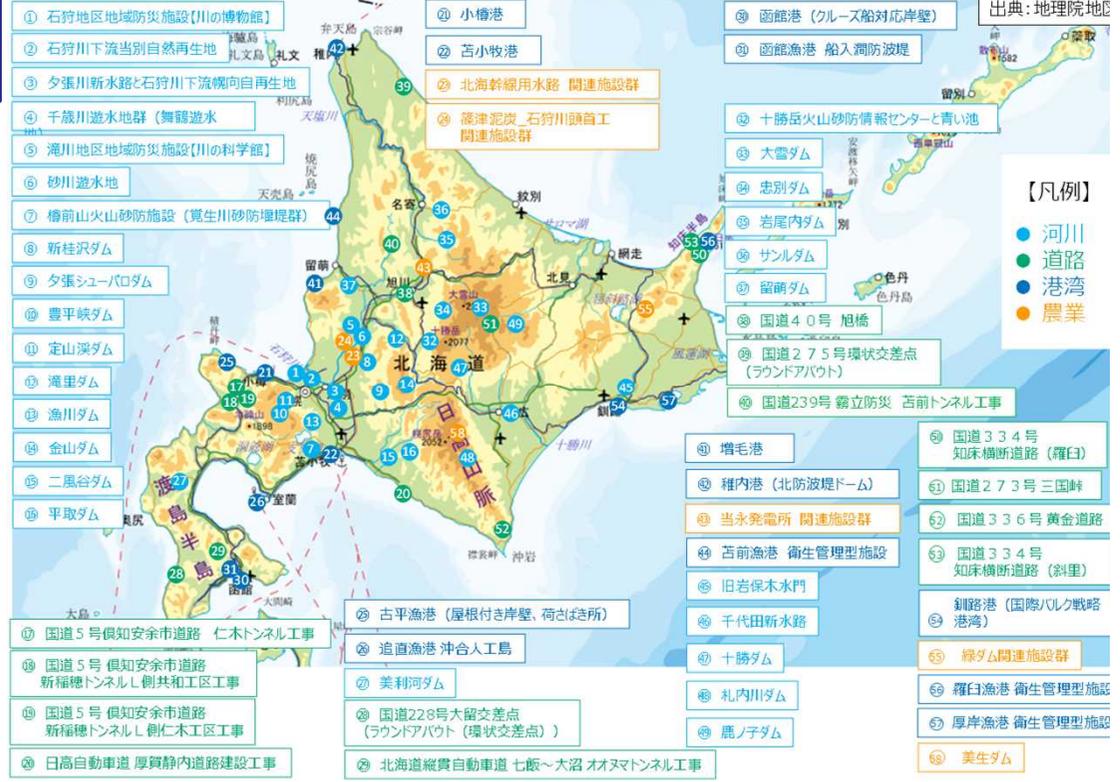
令和7年度「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の手続き・対象施設



令和7年度「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の取組の手続きについて



令和7年度 対象施設一覧



○石狩地区地域防災施設【川の博物館】 (石狩市)

【施設概要】
 ・身近な川への理解を深めてもらうため、資料や視聴覚機器などを展示、川と地域との関わりや歴史、治水事業などを楽しみながら学習できます。
 ・写真パネルや各種展示物、ビデオシアター、ゲーム・クイズコーナーなど、身近な川をわかりやすく紹介します。
 ・施設の2階が展示スペースです。

【見学箇所】
 石狩川と治水の歴史ゾーン
 ものしり体験ゾーン
 資料閲覧ゾーン 川の学習ゾーン
 土木遺産・休憩ゾーン
【見学時間】
 5月～11月 午前10時～午後2時
 30分～1時間程度
 (見学自費入場)
 1時あたり10人/班×1回・最大30人
 (ただし、見学内容・時間は要調整)
 (施設までのアクセス)
 札幌駅から車で約40分
 住所: 北海道石狩市新港1丁目28-24

○石狩地区地域防災施設【川の博物館】 (石狩市)

【駐車場・その他施設】
 ・駐車場: 7台 (乗客用1台)
 ・トイレ: あり (一般用1室、身障者用1室)
 ・エレベーター: あり (10人用)
 ・展望室: 雲戸川、石狩川を展望

【オススメポイント(周辺の観光スポットなど)】
 ・川の博物館の隣には、土木学会選奨土木遺産である北海道の金海線「旧志賀川」や昔の治水工事でも使用された、現在の道庁庁舎の礎となる新築の築地コンクリート製「四脚式基礎ブロック」が展示されています。
 ・歴史近隣の石狩川土版(おやふる)治水部も、土木学会選奨土木遺産に選定されています。
 ・マウンテンビュー: 石狩川の以下流の蛇行部に広がる約130mの展望で、道内屈指のミズバショウ緑帯で有名です。
 ・ほますの丘公園: 1,500mに及ぶ斜面(さし)の上であり、落葉植物や紅葉が、夕日など、等々眺める景色が最高です。

【注意事項】
 ・見学には、事前予約が必要です。
 ・見学(5月～10月月中旬)のみ、事前予約不要で土日祝日(一)成陽祭期間を除くことがあり、札幌深川事務所ホームページでお知らせします。

【位置図】

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の取組 過年度実績



○過年度の部門別ツアー催行実績(枠数・企画数・催行数)、ツアー催行率、及び、1ツアー当たりの平均参加人数と参加費の推移

部門	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	枠数	企画数	催行数	枠数	企画数	催行数	枠数	企画数	催行数	枠数	企画数	催行数	枠数	企画数	催行数	枠数	企画数	催行数																		
ダム	83	13	7	227	39	10	162	27	13	169	23	7	171	28	16	198	44	19	211	35	16	186	25	1	216	60	9	189	34	7	171	15	7	164	19	4
道路	15	4	1	18	3	3	22	4	2	41	3	2	46	4	2	49	5	4	70	5	3	72	4	1	49	18	2	45	6	3	40	13	2	54	8	4
うち供用開始前の 道路工事現場	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	7	0	0	10	1	1	21	1	1	29	2	1	23	15	0	16	4	1	8	2	2	28	7	4
河川	30	3	0	88	3	3	70	6	5	61	5	1	70	13	4	78	13	4	81	9	0	82	5	0	86	16	5	83	12	0	69	8	3	58	13	0
港湾	20	3	0	29	3	2	32	0	0	26	2	0	27	2	1	27	4	3	27	5	2	29	4	0	29	11	1	28	8	4	29	3	0	32	2	0
水産	17	4	0	48	0	0	43	2	2	34	1	1	30	0	0	34	2	1	30	2	2	30	5	0	32	8	0	26	4	0	26	7	2	25	3	0
農業	18	0	0	8	1	1	11	0	0	11	0	0	11	0	0	8	1	1	8	2	1	8	0	0	15	5	1	20	4	1	19	1	1	19	2	2
計	183	27	8	418	49	19	340	39	22	342	34	11	355	47	23	394	69	32	427	58	24	407	43	2	427	118	18	391	68	15	354	47	12	352	47	7



・平成25年度から令和5年度は「公共施設見学ツアー」、令和6年度は「ツアー向け見学枠の公開」の実績。
 ・「枠数」は、各年度の部門毎の各施設のツアー受入可能公開枠数の合計数。「企画数」は、公開枠を予約した旅行事業者がツアーを造成し、参加者募集を行った数。「催行数」は、旅行事業者が参加者募集を行ったツアーのうち、催行に至った件数。

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の取組 令和6年度催行例



令和6年度催行ツアー例

ダム の 堤体内部は普段入れない非日常空間

新桂沢ダムを含むツアー



北海道開発局「インフラツーリズムほっかいどう」
**三笠 新桂沢ダムと岩見沢パラ園
新篠津温泉**

■三笠 新桂沢ダム
1957（昭和32）年に完成した桂沢ダムを11.9mかさ上げを行い、今年完成したダムです。国が管理するダムでは初の回転かさ上げを行ったダムです。この工事で水を貯える量は約1.6倍増えました。

- 出発日 / 2024年6月26日（水）
- 旅行代金 / 10,500円（おとなお1人様・子ども同額）
（※インターネットからの予約で500円引き）
- 最少催行人員 / 15名
- 添乗員 / 同行
- 利用バス会社 / 北海道中央バスグループ又はドリーム観光バス



集合 / 中央バス札幌ターミナル1階待合室（出発の15分前集合）	食事
(8:45集合) 中央バス札幌ターミナル<9:00出発> (高速道路経由)	
三笠 新桂沢ダム (北海道開発局職員の解説付きで、展示室・ダム下・監査廊などを見学★①) <約60分>	朝×
旭川市・ピッツェリアランチ (ピザ・パスタのイタリアンランチ) <約50分>	昼○
いわむかわ公園 (散策) <約60分>	夕×
新篠津温泉たっぷの湯 (入浴★②) <約80分>	
中央バス札幌ターミナル<17:00帰>	

（ツアー参加者の声）

- ・ 大きな施設をつくる苦労を改めて知った。管理する人たちがいることに感謝したい気持ちになった。
- ・ 外からは想像もつかない監査廊の様子に驚いた。どの施設でも、北海道開発局職員の丁寧なわかりやすい説明があり、良い経験ができた。
- ・ 北海道開発局職員の説明は、リアル感・手づくり感があり、とても良かった。

▷ **日常生活を守るダム内部の非日常空間を見学するツアー。**
施設の大きさは圧巻、普段入ることができない堤体内の監査廊で日常生活を守るダムの役割や施設管理について開発局職員から説明。

工事現場は供用前しか見られない特別な体験

仁木トンネル工事、新稲穂トンネルL側共和工区工事を含むツアー

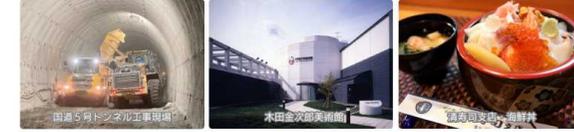


北海道開発局「インフラツーリズムほっかいどう」
**国道5号トンネル工事現場見学
と木田金次郎美術館・海鮮丼**

■国道5号供知安条市道路トンネル（自動車専用道）
供知安条市から条市町までの3.7kmの一般国道の自動車専用道路です。トンネル内に小径バスでそのまま乗り入れ、普段は入ることは見ることができない工事現場、工事機具を見学します。

■木田金次郎美術館
木田金次郎の作品を展示する美術館です。木田金次郎の作品は、北海道の自然や文化をテーマにした作品が多く、その中でも「木田金次郎美術館」は、木田金次郎の代表作「木田金次郎美術館」を展示しています。

- 出発日 / 2024年6月19日（水）・7月18日（木）
- 旅行代金 / 12,500円（おとなお1人様・子ども同額）
（※インターネットからの予約で500円引き）
- 最少催行人員 / 15名
- 添乗員 / 同行
- 利用バス会社 / (小型バス) 北海道中央バスグループ又はドリーム観光バス又は高田モーターズ



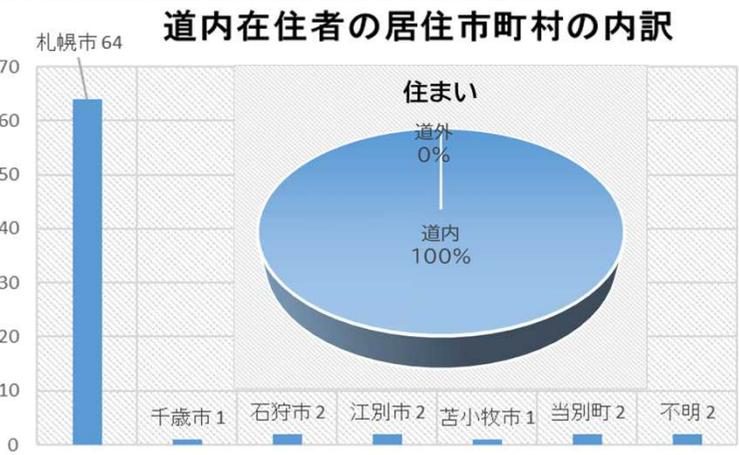
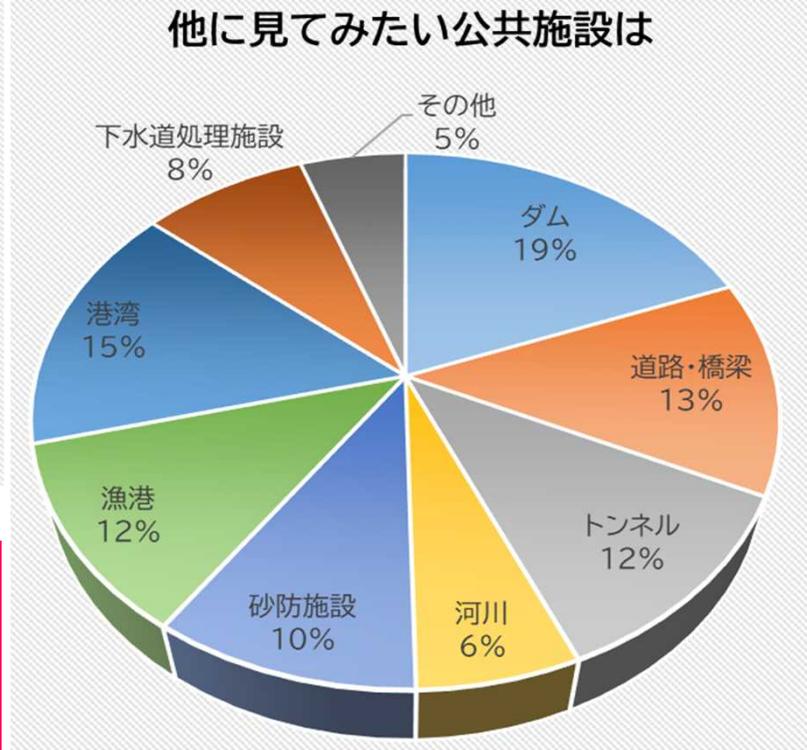
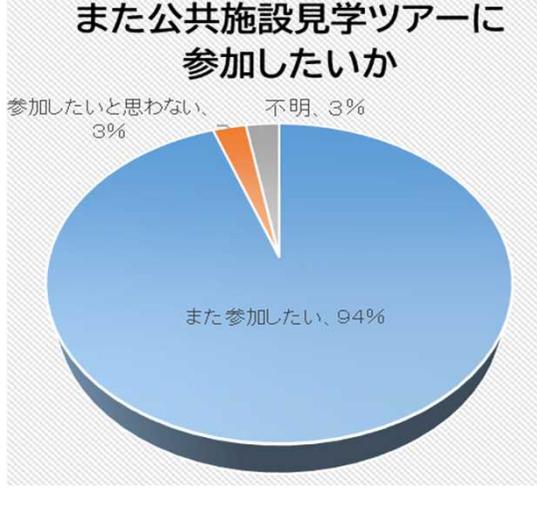
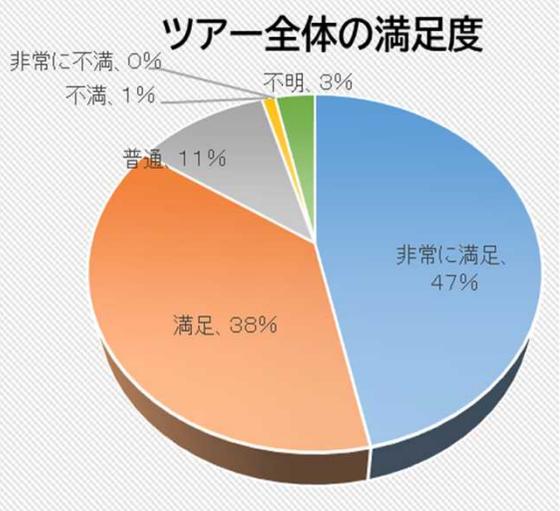
集合 / 中央バス札幌ターミナル1階待合室（出発の15分前集合）	食事
(7:45集合) 中央バス札幌ターミナル<8:00出発> (道の駅に木田 (休憩) <約20分>)	
国道5号・供知安条市道路、仁木トンネル工事現場 (見学) <約40分>	朝×
市内・清和支店 (海鮮ランチ) <約50分>	昼○
木田金次郎美術館 (見学) <約60分>	夕×
道の駅に木田 (休憩・買い物) <約20分>	
中央バス札幌ターミナル<17:00帰>	

（ツアー参加者の声）

- ・ 今回のトンネル工事を含め、公共施設の見学が大好きになった。機会があれば、何回でも参加したい。
- ・ 北海道開発局職員のパネル・映像、口頭によるバラエティに富んだ説明は、今の時代に合っており、わかりやすく伝えようとする心意気を感じた。

▷ **供用前限定の工事現場を見学するツアー**
大型重機を用いた工事現場を見学できる供用前しか見られない特別感のあるツアー。供用後に地域にもたらされる事業効果などについて開発局職員から説明。

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の取組 令和6年度参加者アンケート



・ツアー参加者の9割近くが「非常に満足」、「満足」と回答。

・また、ほぼ全員が「また参加したい」と回答。

